

那覇高校 中高一貫教育の早期導入を要請 城岳同窓会が県教育庁に

那覇高校と前身の県立二中の卒業生でつくる城岳同窓会の宇良宗真会長は10日、県教育庁に山内彰県教育長を訪ね、那覇高校への併設型中高一貫教育の早期導入を要請した。

宇良会長は「これまで築いてきた校風と伝統を維持しながら、時代の変化と社会のニーズへの対応が求められている」とし、中高一貫教育導入により六ヶ年通した計画的・継続的な教育指導の展開が期待できると述べた。

山内教育長は「那覇地区への中高一貫教育は、計画の後期（2007年度以降）に位置付けている。中学校の編成整備計画との兼ね合いや財政的な事情もあるが、同窓会からの積極的なアプローチはありがたい」と述べた。

県教育委員会は県立高校の整備計画（02-11年度）の中で、那覇市内に6年間一貫の中等教育学校の設置を計画している。

（2003.7.5 沖縄タイムスより転載）



同期生会だより

☆☆☆☆☆ 昭四会の懇談会 ☆☆☆☆☆

平成14年度の昭四会が、平成14年11月19日（火）ホテル西武オリオンでもたれた。当山堅次さんの乾杯の音頭で会は始まり、源河徳博城岳同窓会事務局長による挨拶があった。挨拶の中で、「二中昭四会」の模様を会報に掲載すると重みが出てきます。皆さんの二中時代の思い出を語っていただきたい旨の話がありました。

昭四会は、当初はよく一緒に旅行し、本土からの参加者もいて盛会だったようですが、最近は旅行も取りやめ食事会で旧交を温めているようです。

当時の旧制中学校は五年制。毎年、150人ほどの生徒が入学、甲、乙、丙の三組に分けられるが、各組とも成績順に席が決められ、それが当然とされたころだったようです。でも、ガリ勉ばかりではなく、生徒はユニークな先生たちからさまざまな影響をうけ、日々はぐくまれていたようです。

◆◆◆那覇高校ニュース◆◆◆

進路状況

平成15年度3月卒業生（第56期）の進路状況は、国公立大学合格者75名、私立大学合格者114名、短期大学合格者26名、専門学校68名、準大学8名、就職7名であった。

高校総体

高校総体は男女総合8位（男子10位、女子4位）。種目別では、剣道団体4位、女子優勝、個人 玉橋綱大2位、山川綾乃2位。柔道個人上原基市3位。水泳女子総合2位、400mリレー2位、400mメドレーリレー2位、個人では豊里萌さんが200m自由形1位、100m自由形3位、200m個人メドレー3位、野原育美さんが100m背泳ぎ1位、栗原晴奈さんが200m自由形3位とそれぞれ活躍した。

城岳同窓会奨学生

国外留学生に山口泰央君決まる

最初にお礼を言いたいと思います。こんなに運の良い事があって良いのでしょうか。本当に嬉しく思います。心から感謝しています。

僕が野球部だった時に、同級生の野球部の友達が留学に行くと言いました。その時から少しずつ留学したいという気持ちが膨らみ野球部を辞め、留学するための勉強に励みました。これまでの勉強の成果で米国留学を得る事ができたと信じています。色々親にも苦勞をかけていますが、帰ってきてからお返しするつもりです。一生懸命諦めずに頑張ってきます。本当に有難うございました。

（3年2組 山口 泰央）

◆◆◆那覇高校管理棟完成◆◆◆



管理棟として学校の中心となる施設であり、身障者対応エレベーター、既設校舎への渡り廊下などバリアフリーへの対応、雨水の地下浸透及び井戸水の有効利用など、環境にも配慮されている。

城岳同窓会会報

編集発行 城岳同窓会
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53
電話・FAX 098-867-2525